

1. 科目名 (単位数)	日本語教授法Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	EJJP3154
2. 授業担当教員	松浦 康世		
4. 授業形態	講義、討論、発表、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語教授法Ⅰ」を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	日本語教授法Ⅰで培った日本語の基礎知識を踏まえて、日本語教育においてどのような教育方法が望ましいかを追求していく授業である。さまざまな教授法の長所を生かし、より良い教授法を模索していくことが重要である。 日本語教育の現状の分析に基づき、言語教育理論の成果も取り入れて、教授法の理論とその実践方法を学習していく。また、模擬授業はグループごとに課題を行う。その後フィードバックや討論を行い、各自がレポートにまとめて提出する。		
8. 学習目標	1. 日本語教師の役割と、日本語を教えることの目的や意義を理解できる。 2. 初級と中上級の教え方の違いについて理解できる。 3. 中上級の聴解・会話の教え方について理解し指導できる。 4. 中上級の読解の教え方について理解し指導できる。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	1. 模擬授業の授業案と自己評価をレポートにまとめて提出する。(15点×2回) 2. 模擬授業のための教材を作成する。(10点×2回) 3. 模擬授業をする。(10点×2回)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】授業内でプリントを配布する。 【参考書】授業内で適宜紹介する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 教え方についての理論が理解できたか。 2. 教え方について指導実践できたか。 ○評定の方法 [授業への出席、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・受講態度 総合点の30% 2 期末試験(レポート) 総合点の30% 3 課題・発表 総合点の40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	模擬授業では、これまでに身に付けた日本語や教授法に関する知識を生かし、教壇に立って教える練習をする。クラスメイトとアイディアを出し合って、楽しく授業実践を体験してほしい。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (学習の進め方、課題、評価方法) 日本語教師の仕事と役割	事前学習	シラバスを読み、講座の概要を理解する。
		事後学習	時間割に沿って学習計画を立てる。
第2回	コースデザイン、学習者のニーズ、日本語のレベル	事前学習	日本語を教える前に何をすべきか考える。
		事後学習	コースデザインの手順を整理する。
第3回	レベル別・目的別教材、シラバスの種類	事前学習	学習者に合った教材の選び方を考える。
		事後学習	教科書の種類を整理する。
第4回	教授法の種類、技能別練習方法 (会話、読解、聴解)	事前学習	外国語の教授法と効果を調べておく。
		事後学習	学習者のニーズに合った教え方を考える。
第5回	初級授業の実践例、課題提示	事前学習	初級授業の動画を探して視聴する。
		事後学習	課題の進め方を考えて計画を立てる。
第6回	教案・教材作成	事前学習	担当する項目の導入と練習方法を考える。
		事後学習	学習項目に合った教案と教材を作成する。
第7回	グループワーク (教案・教材確認)	事前学習	教案と教材を紹介できるよう準備する。
		事後学習	アドバイスを受けて教案と教材を改善する。
第8回	初級模擬授業準備の最終確認	事前学習	教案と教材を完成させる。
		事後学習	時間配分や内容について最終確認をする。
第9回	初級模擬授業、自己評価、意見交換、講評	事前学習	模擬授業の練習をする。
		事後学習	クラスの意見や反省点を整理しておく。
第10回	中上級授業の実践例、課題提示	事前学習	中上級授業の動画を探して視聴する。
		事後学習	課題の進め方を考えて計画を立てる。
第11回	教案・教材作成	事前学習	担当する項目の導入と練習方法を考える。
		事後学習	学習項目に合った教案と教材を作成する。
第12回	グループワーク (教案・教材確認)	事前学習	教案と教材を紹介できるよう準備する。
		事後学習	アドバイスを受けて教案と教材を作成する。
第13回	中上級模擬授業準備の最終確認	事前学習	教案と教材を完成させる。
		事後学習	時間配分や内容について最終確認をする。
第14回	中上級模擬授業、自己評価、意見交換、講評	事前学習	模擬授業の練習をする。
		事後学習	クラスの意見や反省点を整理しておく。
第15回	まとめ、質疑応答、アンケート	事前学習	学んだことを見直し、疑問点を整理する。
		事後学習	今後の目標を立て、学習計画を立てる。